

# 議論の中から新発見

## プレミアム付商品券 事業を行います

消費税、地域消費税の10%への引き上げや、低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響の緩和とともに、地域の消費喚起を目的に実施するプレミアム付商品券事業費として7606万6千円を計上しました。

**Q** どこに委託をするのか。

**A** 商工会と随意契約をする予定である。

**Q** 委託の内容は。

**A** 事務の委託は、商品券の印刷、店舗募集、商品券の換金業務、商品券の販売等だ。ただし、商品券の販売場所は、市内7カ所の郵便局である。

**Q** 配布の仕方は。

**A** 低所得者は、申請方式で、申請され該当者であれば、購入引きかえ券を送付する。また、3歳未満の子を有する世帯の世帯主に、購入引きかえ券を送付する。



▲販売場所となる郵便局(佐屋)

**Q** 対象と人数は。

**A** プレミアム付商品券の対象者は、低所得者が2019年度、個人住民税非課税の方で約8千人、3歳未満の子が約1800人を見込んでいます。

## 討論

賛成

プレミアム付商品券事業は、消費税・地方消費税の10%への引き上げに対する低所得者及び子育て世帯への影響緩和を目的に行っている。国の方針のもと、商工会や7カ所の郵便局と連携を取り適正に進めていく方針である。

反対

今回のプレミアム付商品券事業は、子育て世帯と低所得者が対象であり前回とは、全く違った物である。商工会と随意契約をし、丸投げとしか思えない。また、消費税増税は、国民生活に打撃を与え、日本経済を壊す。消費税増税をしないことが一番の生活支援になる。

## 佐屋中央保育園駐車場 整備事業を進めます

土地購入費など2203万2千円を補正計上しました。

**Q** 購入予定地の面積、単価、駐車台数はどれくらいか。

**A** 面積は約1千㎡、単価は1㎡当たり2万2千円、駐車台数は約30台分である。

**Q** 駐車台数が30台分で大丈夫なのか。

**A** 朝夕の送迎時間帯の周辺道路の混雑が、この規模で解消できると考えている。

**Q** 土地の購入目的は。

**A** 佐屋中央保育園北側道路が狭く、保護者の送迎車両で既存駐車場や周辺道路が大変混雑している。周辺住民からは、交通安全上危険なため、交通事故の発生を心配し、安心・安全確保の対応を求める強い要望を受けて



▲駐車場予定地